

## カスリーン台風による建設予定地の被害状況について（調査結果）

## 1. 建設予定地の被害状況

## ●建設予定地の浸水深 0.5m～2.0m 【別紙1】

- ・建設予定地周辺は、利根川の堤防決壊による影響は見受けられず、荒川の堤防決壊により浸水深が0.5m～2.0mの記録があった。
- ・一方で、流域面積の大きい利根川の堤防決壊による被害は甚大であり、利根川周辺で浸水深が2.0m以上の記録があった。

## 2. カスリーン台風の概要（昭和22年9月）

●風速が弱く雨量が異常に多い、典型的な「雨台風」

- ・台風自体は、本州接近時には既に勢力を弱めつつあったが、停滞中の秋雨前線により2、3日間、雨が降り続いていたところに台風の湿った空気が入り込み、活発化したことで豪雨がもたらされ、関東の各河川で急速に水位が上昇し、堤防の決壊に至った。

## ●荒川流域の降水量（9月14日～9月15日）

	2日間の降水量(mm)	1時間最大降水量(mm)
熊谷	339.8	50.2
秩父	609.5	78.0

出典：気象庁 HP

## ●荒川の堤防決壊 【別紙2】

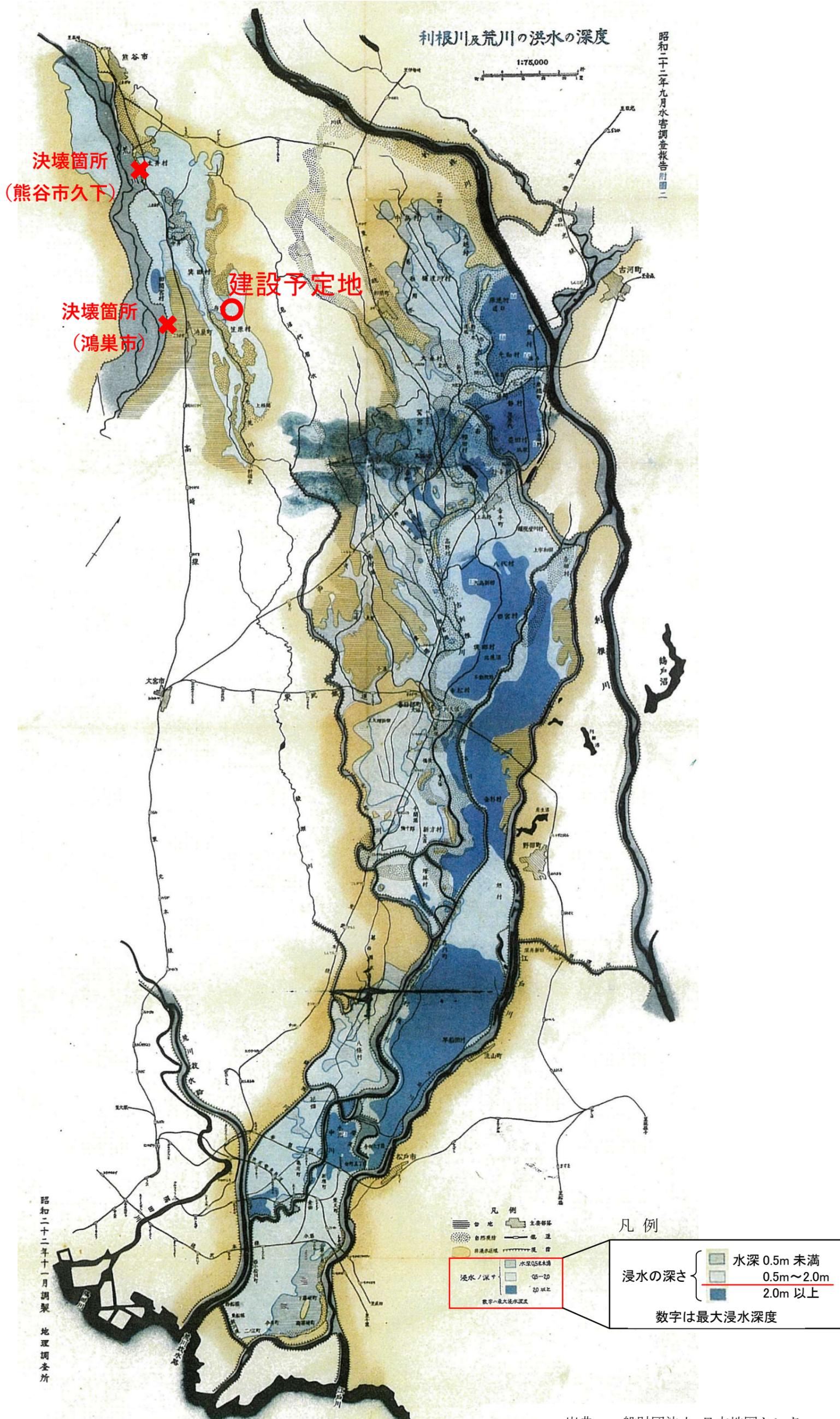
- 9月15日 午後6時35分頃 左岸約60m決壊（鴻巣市大間）
- 9月15日 午後7時30分頃 左岸約100m決壊（熊谷市久下）

## ●関東1都5県で死者1,100名、田畑の浸水面積約18万ha

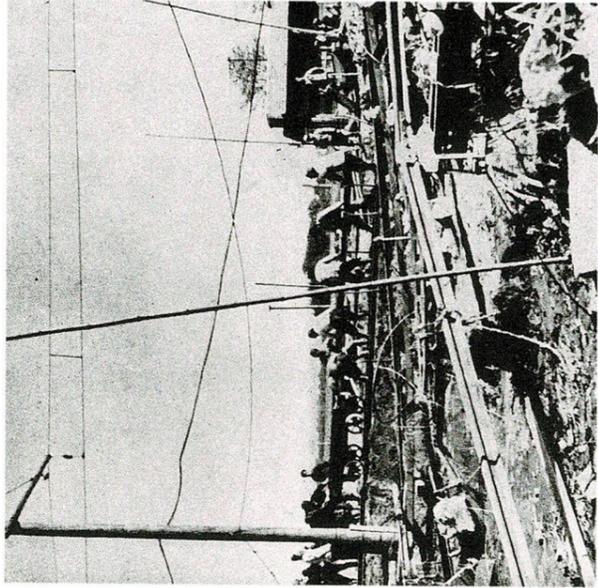
都県名	死者（人）	田畑の浸水（ha）
東京	8	2,349
千葉	4	2,010
<b>埼玉</b>	<b>86</b>	<b>66,524</b>
群馬	592	62,300
茨城	58	19,204
栃木	352	24,402
合計	1,100	176,789

出典：国土交通省 HP

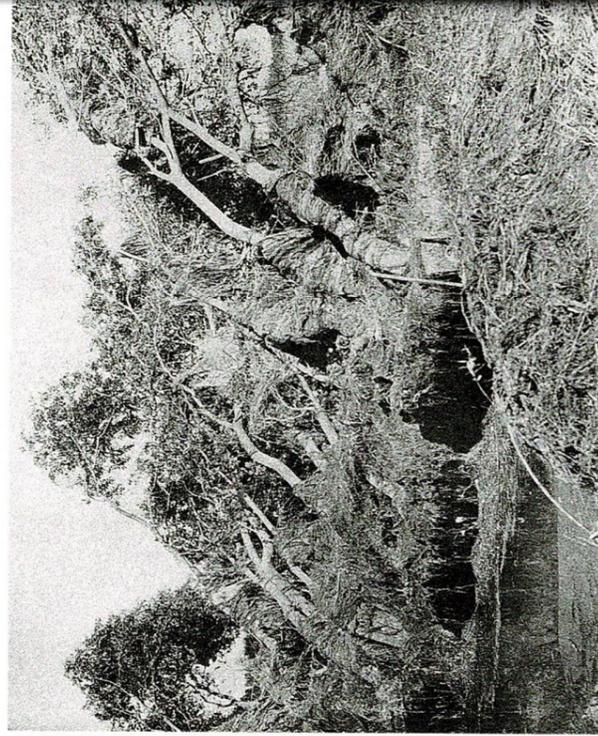
# カスリーン台風による浸水状況



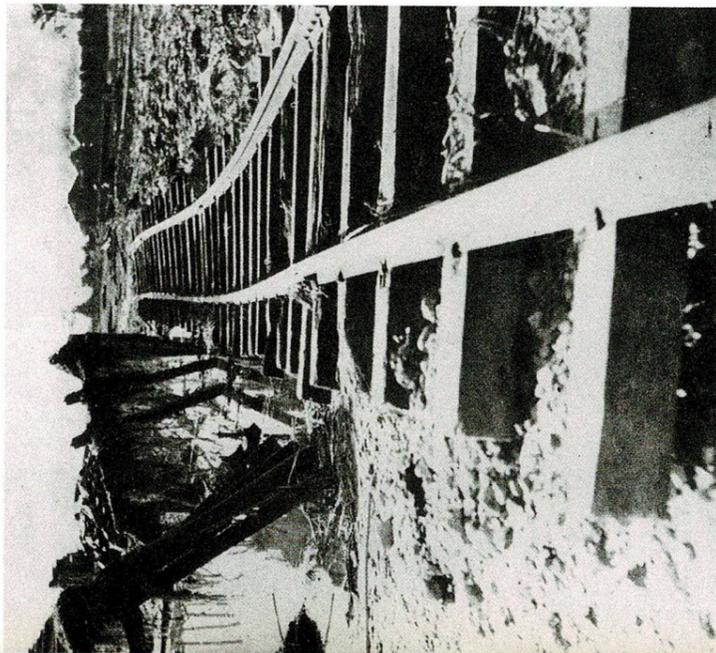
# 凄まじい破壊力



流失した新古河駅(川辺村(北川辺町)) (「埼玉県水害誌付録写真帳」より)



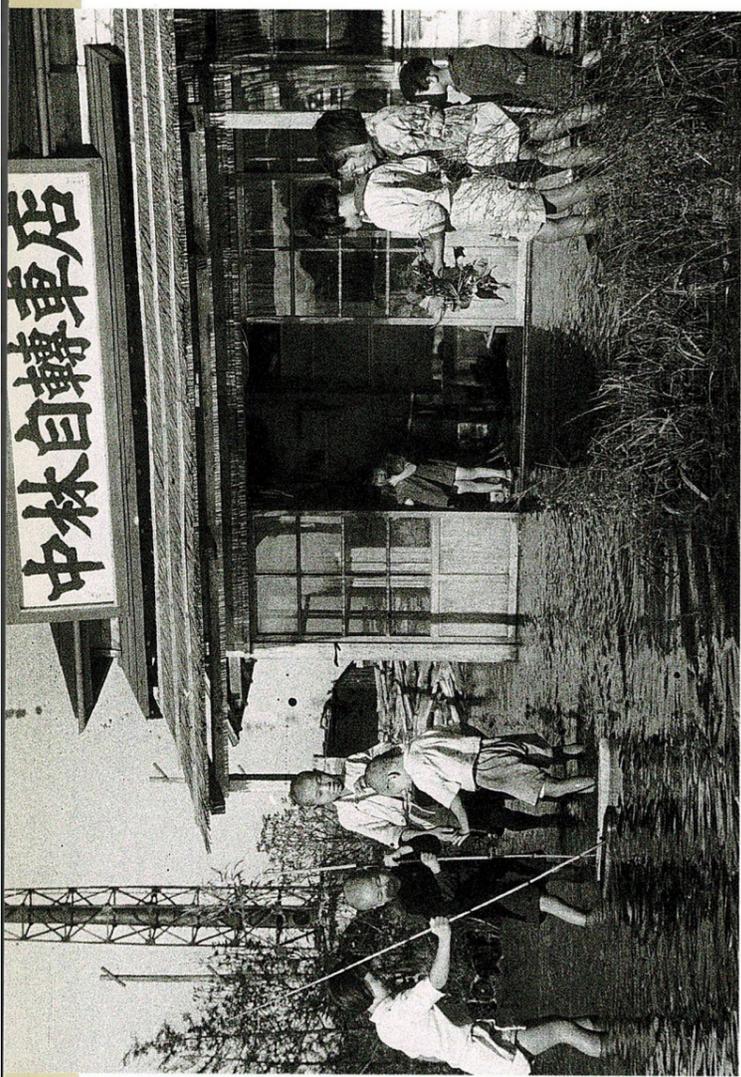
濁流に押し倒された樹木(行幸村(幸手市)) (「埼玉県水害誌付録写真帳」より)



破壊され折れ曲った栗橋駅構内のレール (「埼玉県水害誌付録写真帳」より)



水が引いた原道村(大和根町)の一部で行われた稲刈り。長く冠水していた福徳からは芽が吹いている(10月3日)



迫りくる水に、自宅を前になすすべもない(9月16日 川口市)

# 荒川の氾濫

## ◆荒川堤防決壊

利根川の堤防決壊に先立って荒川では、9月15日午後6時35分、北足立郡田間宮村(鴻巣市)大字大間地先で堤防約60mが決壊。ついで午後7時30分にその上流の熊谷市大字久下字久下新田地先で堤防約100mが決

壊。濁流は北足立郡吹上町、大井村(熊谷市・行田市)方面から屈巢村(川里村)、笠原村(鴻巣市)方面へと荒川洪水の主流となって南下、翌16日午前7時には春日部町(春日部市)に達した。この荒川洪水による被害は、田間宮村で流失家屋3戸、全壊家屋87戸を生じた以外には比較的軽微であった。

軒先まで水につかった川口市・善光寺境内の建物。写真奥が本堂(9月16日)

